29 公埼理第 567 号
平成 29 年 12 月 27 日

会員各位

公益社団法人埼玉県理学療法士会
会　　長　　南本　浩之
東部ブロック理事　　瀧上　晃弘
東部ブロック中央エリア長　中村　高仁
（公文書番号にて公印省略）

東部ブロック中央エリア主催
平成 29 年度東部ブロック第 2 回中央エリア研修会のお知らせ

『充実した在宅生活に向けた入院リハビリテーション』

～在宅復帰後の“落とし穴”から得た教訓～

拝啓

会員の皆様におかれましては益々ご活躍のことと存じます。この度、平成 29 年度東部ブロック第 2 回中央エリア研修会を下記のように開催致します。

入院中から在宅を意識した関わりは重要であるものの、在宅生活に対する理解やイメージの不十分さから、在宅復帰後に問題が生じるケースが散見しています。そこで、病院を退院後、在宅生活に移行したケースによくみられる問題点を提示し、日頃の臨床を見直し、より適切で充実した在宅生活への移行ができるようになることを目的とし、研修会を企画させていただきました。多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

敬具

記

1）研 修 会 名 ： 公益社団法人埼玉県理学療法士会　平成 29 年度東部ブロック第 2 回中央エリア研修会
2）日　　時 ： 平成 30 年 2 月 16 日（金）19：00～21：00（受付開始 18:45～）
3）場　　所 ： 春日部厚生病院　リハビリテーション室
〒344-0063　埼玉県春日部市緑町 6-11-48　東武スカイツリー線「一の割」徒歩 6 分
4）定　　員 ： 50 名　※定員が超過した場合は、参加人数の多い施設で人数調整させて頂きますのでご了承下さい。その場合は各施設の参加代表者に連絡させて頂きます。
5）テ　ー　マ ： 充実した在宅生活に向けた入院リハビリテーション
～在宅復帰後の“落とし穴”から得た教訓～
6）内　　容 ： 病院から在宅生活へ移行したケースによくみられる問題点を提示し、より適切な在宅復帰に向けた取り組みを学ぶ
7）講　　師 ： 杉山　昇平先生（春日部厚生病院　理学療法士）
8）対　　象 ： 理学療法士、養成校学生、リハビリ関連職種
9）参　加　費 ： 埼玉県理学療法士会会員・養成校学生　無料
他都道府県士会員　1,000 円、会員外　5,000 円　※当日徴収させて頂きます
10）新人教育プログラム単位：
この研修会参加により「C-5 地域リハビリテーション」の 1 単位が与えられます．この単位は，日本理学療法士協会 HP 上（http://www.japanpt.or.jp/）の各会員のマイページ上に自動的に反映されます。

11）申 込 方 法：

（公社）埼玉県理学療法士会ホームページ（ http://www.saitama-pt.or.jp/ ）の「講習会・研修会一覧」から当研修会をご選択の上、「申込フォーム」よりお申し込みください。

12）申し込み〆切：**平成 30 年 2 月 8 日（木）まで**

※参加の可否を平成 30 年 2 月 13 日（火）までに電子メールにて配信致します。

返信が届かない場合は、メールアドレスの登録等に不備があったと思われます。お手数ですが、再度申込みを願いいたします。

13）問い合わせ　：　**※申し込み先ではございません**

〒344-0063　埼玉県春日部市緑町 6-11-48
春日部厚生病院　杉山 昇平
E-mail:　reha-active@kousei-hospital.jp

◆　会場内でのカメラ・ビデオ撮影（カメラ付き携帯電話含む）・録音等は、講演者の著作権保護のため禁止させて頂きます。

交通案内

－電車をご利用の方－

東部スカイツリーライン（伊勢崎線）一ノ割駅　徒歩 5 分

改札口は一つです。

改札を左に曲がり、案内看板を目印にご来場ください。

快速、急行、準急電車は停車いたしませんのでご注意ください。

→急行等をご利用の場合は、せんげん台または春日部で各駅停車にお乗り換え下さい。

－車をご利用の方－

駐車場に限りがあります。

公共交通機関のご利用をお願いいたします。